

試験報告書

依頼者 イーエス・テクノロジー株式会社

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検体 ステリパワー 弱酸性次亜塩素酸水溶液 200ppm

表題 雌ラットを用いる急性経口毒性試験

2021 年 03 月 08 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

要約

ステリパワー 弱酸性次亜塩素酸水溶液 200ppmを検体として、雌ラットを用いる急性経口毒性試験(限度試験)を行った。

5000 mg/kgの用量の検体を雌ラットに単回経口投与し、14日間観察を行った。その結果、観察期間中に異常及び死亡例は認められなかった。

以上のことから、ラットを用いる単回経口投与において、検体のLD50値は、雌では5000 mg/kgを超えるものと評価された。

不許複製・禁無断転載 Copyright © 2021 ES TECHNOLOGIES CORP., All rights reserved.

枠内 次ページより引用

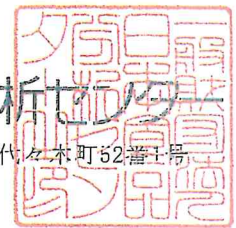
試験報告書

依頼者 イーエス・テクノロジー株式会社

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検体 ステリパワー 弱酸性次亜塩素酸水溶液 200ppm

表題 ウサギを用いる眼刺激性試験

2021年03月08日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

要約

ステリパワー 弱酸性次亜塩素酸水溶液 200ppmを検体として、OECD Guideline for the Testing of Chemicals 405(2020)に準拠し、ウサギを用いる眼刺激性試験を行った。

ウサギ3匹の片眼に検体を0.1 mL点眼した。その結果、点眼後1, 24, 48及び72時間の各観察時間において刺激反応は見られなかった。

Draize法に従って求めた観察期間中の平均合計評点の最高値は0となった。

以上のことから、ウサギを用いる眼刺激性試験において、検体は「無刺激物」の範疇にあるものと評価された。

不許複製・禁無断転載 Copyright © 2021 ES TECHNOLOGIES CORP., All rights reserved.

枠内次ページより引用

試験報告書

依頼者 イーエス・テクノロジー株式会社

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検体 ステリパワー 弱酸性次亜塩素酸水溶液 200ppm

表題 ウサギを用いる皮膚一次刺激性試験

2021年03月08日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

要約

ステリパワー 弱酸性次亜塩素酸水溶液 200ppmを検体として、OECD Guideline for Testing of Chemicals 404(2015)に準拠し、ウサギを用いる皮膚一次刺激性試験を行った。

検体をウサギ3匹の無傷及び有傷皮膚に4時間閉鎖適用した。その結果、除去後1時間に全例で非常に軽度～はっきりした紅斑が見られたが、24時間に消失した。

ISO 10993-10:2010, Biological evaluation of medical devices - Part 10に従って求めた一次刺激性インデックス(P. I. I.)は0となった。

以上のことから、ウサギを用いる皮膚一次刺激性試験において、検体は「無刺激性」の範疇に入るものと評価された。

不許複製・禁無断転載 Copyright © 2021 ES TECHNOLOGIES CORP., All rights reserved.

枠内次ページより引用